

業務実績報告書

提出日 2020年1月15日

1. 職名・氏名 准教授 飛田正之

2. 学位 学位 修士、専門分野 教育学、授与機関 早稲田大学、授与年月 1999.1

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ (各2単位 毎年開講) 2年生 (2017年度～2019年度)
② 内容・ねらい	企業経営における人材の管理、活用の効率的な方式をさまざまな面から考察する。また学生にとっては、企業を選ぶ際に、どのようなキャリア、働き方があるのかを知り、効果的な就職活動、企業選びを行えることを目的としている。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	毎回レジュメを配布して、それにもとづき講義を行った。レジュメは講義のポイント、統計資料、企業ケースを取り入れ資料作りを行った。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	演習Ⅰ (4単位 毎年開講) 3年生 (2017年度～2019年度)
② 内容・ねらい	企業における人材の管理、活用の効率的な方式を深く考えることを目的とする。前期は人材管理の各領域(採用、評価、賃金など)に関する論文を事前に配布し、演習で内容を報告、討議するように主要な領域の理解を目指す。後期については、各自テーマを設定し、資料収集、報告、討議を行う。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	前期は「福井働きたい企業」調査のために必要な、アンケート調査票の作成、アンケートの配布を行った。後期は県内企業のヒアリング調査に取り組んだ。後期末に企業表彰式を開催し、ゼミで企業表彰式を行った。フィールドワークにより、福井県の身近な企業の人材の活用方式を学ぶことができ、就職活動にも役立てられるように取り組んだ。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	演習Ⅱ (4単位 毎年開講) 4年生 (2017年度～2019年度)
② 内容・ねらい	前期は「福井働きたい企業」調査のために必要な、アンケート調査票の作成、アンケートの配布を行った。後期は県内企業のヒアリング調査に取り組んだ。後期末に企業表彰式を開催し、ゼミで企業表彰式を行った。フィールドワークにより、福井県の身近な企業の人材の活用方式を学ぶことができ、就職活動にも役立てられるように取り組んだ。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	研究を深めるとともに、研究発表するために、わかりやすく伝える工夫など指導を行う。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	基礎ゼミ (2単位 毎年開講) 2年生 (2017～2019年度)
② 内容・ねらい	3年次からの演習を前に、研究に必要な資料の収集、分析を行う基礎的能力の育成をねらいとする。また各学生が分析を行った発表・討議を行う。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	研究を深めるとともに、研究発表するために、わかりやすく伝える工夫など指導を行う。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	外書講読Ⅰ (2単位 毎年開講) 2年生 (2017年度)

<p>② 内容・ねらい</p> <p>3年次以降は経済経営を学ぶ上で、英語の文献からも必要な事柄を調べる必要がある。その基礎として外書講読は、経済経営に関する基本的な専門用語を知ること、企業、ブランド、経営者などが現在どのような方向にあえるのか、大まかに知ることが目的としている。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>学生の興味・関心ある内容で外書を学んでもらうために、最近流行している商品、話題となっている経営者、企業等に関するタイムリーな記事を新聞記事、雑誌から選び、使用した。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等</p> <p>経営学特講A・経済学特講A「福井県内優良企業の人材活用と技術力」（2単位）1年生（2017年度）</p>
<p>② 内容・ねらい</p> <p>身近な福井県内企業における優れた技術力を持つ企業、積極的に人材活用を行う企業を学ぶことを目的に、県内の機関、企業からにゲストスピーカーを呼び、実態を理解することを目的とする。また、県内企業に関心を持ってもらい、県内企業への就職率が高まることを目的とする。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>県内の労働、人材活用の実態を理解するため、さまざまなゲストスピーカーから企業の実態を話してもらう。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等</p> <p>人的資源管理特論（2単位、隔年度開講）大学院（2017年度、2019年度）</p>
<p>② 内容・ねらい</p> <p>企業における人材の管理、活用の効率的な方式を深く考えることを目的とする。前期は人材管理の各領域（採用、評価、賃金など）に関する論文を事前に配布し、演習で内容を報告、討議するように主要な領域の理解を目指す。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>毎回レジュメを配布して、それにもとづき講義を行った。レジュメは講義のポイント、統計資料、企業ケースを取り入れ資料作りを行った。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等</p> <p>人的資源管理特論演習（4単位、毎年開講）大学院（2017年度～2019年度）</p>
<p>② 内容・ねらい</p> <p>人的資源管理に関する研究を行うため、調査手法、文献サーベイ、分析方式を学ぶ。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>民間企業の人的資源管理に関する企業事例を講義に取り入れた。</p>
<p>(2) 非常勤講師担当科目</p>
<p>①担当科目名（単位数）</p> <p>開講学校名：早稲田大学大学院 社会科学研究科</p> <p>人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ（各2単位）（2017年度～2019年度）</p>
<p>②内容・ねらい</p> <p>企業経営における人材の管理、活用の効率的な方式をさまざまな面から考察する。また学生にとっては、企業を選ぶ際に、どのようなキャリア、働き方があるのかを知り、効果的な就職活動、企業選びを行えることを目的としている。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>毎回レジュメを配布して、それにもとづき講義を行った。レジュメは講義のポイント、統計資料、企業ケースを取り入れ資料作りを行った。</p>

④ 本学における業務との関連性 本学での基礎ゼミ、人的資源管理論の科目でも関連があるため活用することができた。
① 担当科目名（単位数） 開講学校名：日本福祉大学 通信教育学部 人的資源管理（4 単位）（2017 年度～2019 年度）
② 内容・ねらい 企業経営における人材の管理、活用の効率的な方式をさまざまな面から考察する。また学生にとっては、企業を選ぶ際に、どのようなキャリア、働き方があるのかを知り、効果的な就職活動、企業選びを行えることを目的としている。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 テキストを作成し、人的資源管理の仕組み、用語の解説、最新の各種統計データを取り入れた。
④ 本学における業務との関連性 新たなテキストを作成した（2019 年度）。テキスト作成には、これまでの本学での「人的資源管理論 I・II」の講義をまとめた。このテキストは、本学での「人的資源管理論 I・II」の講義で活用することができた。
(3) その他の教育活動 オフィス・アワーなどの時間に学生からの講義への質問、就職活動の相談対応を行った。

4. 研究業績

(1) 研究業績の公表
① 論文 ・「人事担当者のこれからのキャリアを考える」『労政時報』第 3990 号、労務行政研究所、2020 年 3 月（近刊） ・「日本企業 A 社」（第 1 章）『日韓中企業のグローバル・タレント・マネジメント（G T M）国際比較調査』早稲田大学トランスナショナル HRM 研究所、2019 年 7 月 ・「エグゼクティブ向け研修」（第 1 章）、「事業部門研修」（第 3 章）『海外現地法人における採用人材の育成に関する調査』早稲田大学トランスナショナル HRM 研究所、2017 年 5 月
② 著書 ・『人的資源管理』日本福祉大学、2019 年 4 月（単著） ・『人的資源管理の力』文眞堂（第 2 章、第 12 章執筆担当）2018 年 3 月
③ 学会報告等
④ その他の公表実績
(2) 学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動
学会での役職など
学会・分科会の開催運営
(3) 研究会活動等
① その他の研究活動参加 早稲田大学トランスナショナル HRM 研究所 招聘研究員 2017 年度～2019 年度
② その活動による成果 ・「日本企業 A 社」（第 1 章）『日韓中企業のグローバル・タレント・マネジメント（G T M）国際比較調査』早稲田大学トランスナショナル HRM 研究所、2019 年 7 月 ・「エグゼクティブ向け研修」（第 1 章）、「事業部門研修」（第 3 章）『海外現地法人における採用人材の育成に関する調査』早稲田大学トランスナショナル HRM 研究所、2017 年 5 月

(4)外部資金・競争的資金獲得実績			
科研費補助金	基盤研究費 (B)	課題番号 18H00895	20.0 万円、2019 年度
科研費補助金	基盤研究費 (B)	課題番号 18H00895	27.0 万円、2018 年度
科研費補助金	基盤研究費 (B)	課題番号 15H03386	24.0 万円、2017 年度
学内研究活性化枠		49.1 万円	2019 年度
学内研究活性化枠		34.4 万円	2017 年度

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体	
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会	『社員ファースト企業認定審査会』（福井県産業労働部）委員長、2019 年度 『働きやすい福井企業大賞審査会』（福井県産業労働部）委員長、2018 年度 『福井県自治研修所運営協議会』委員、2017 年度～2019 年度 『福井県自治研修所研修業務委託先選考審査委員会』審査委員、2017 年度～2019 年度 『福井県職業能力開発審議会』委員、2017 年度
② 国・地方公共団体等の調査受託等	
③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加	
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動	
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等	
⑥ その他 (講演・講師)	日本在外企業協会「国際人事グループ産学研究交流会第4回」講演、2019年7月25日 福井労働局「若者応援企業等研修会」講演、2017年2月21日
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等	
① 公開講座・オープンカレッジの開講	
② 社会人・高校生向けの講座	進路探究講座、丸岡高校 2019年10月24日 学問発見講座、武生東高校 2018年7月26日 進路探究講座、敦賀高校 2017年10月31日
③ その他	
(3)その他 (個人の資格で参加している社会活動等)	

6. 大学の管理・運営

(1)役職 (副学長、部局長、学科長)
(2)委員会・チーム活動
教育研究委員 (2017 年度～2018 年度)
(3)学内行事への参加
高校への入試説明会 仁愛女子高校 2017年7月31日
(4)その他、自発的活動など